

Academic seminar

第8回あおいセミナー

学生・教員対象！

「あおいセミナー」は、新進気鋭の研究者から、研究職のキャリア形成のヒントを得るためのセミナーです。第8回目は、工藝素材研究所を主宰し、工芸技法材料研究家かつ文化財保存修復家の北川美穂さんにお話し頂きます。

漆とラック

海外の研究者同士をも繋ぐアジアの天然素材

*ラックとは…主に東南アジアに生息するラックカイガラムシがマメ科やクワ科などの木の樹液を吸い分泌する樹脂で、精製加工したものはシェラックと呼ばれる。

2015/01/26 (月) 17:00—18:00

@ 図書館3階 視聴覚室

講師：

北川 美穂 氏 (工藝素材研究所主宰)

工芸技法材料研究家、文化財保存修復家

東京藝術大学美術学部工芸科漆芸専攻卒、同修士課程修了。
吉備文化財修復所、国立歴史民俗博物館、東京国立博物館で勤務後、文化庁在外研修員としてラッカー技法研究のためロンドンに滞在。シティ&ギルズ・オブ・ロンドン美術学校保存科、ヴィクトリア&アルバート博物館研究員を経て、東京藝術大学で文化財博士号を取得。JICA大エジプト博物館保存センター事業、東京国立博物館保存修復課などで勤務後、工藝素材研究所を開設し活動中。

内容：

漆は英語で「Asian lacquer」ですが、このlacquerの語源となっている「ラック」は東南アジアの国々で採取されています。北川氏は大学で漆の制作を始め、その後文化財修復の道に進んだことでラックと出会い、イギリスでラック塗装技法を研究し、帰国後はアジアを中心に漆とラックの研究を平行して行われています。漆よりも日本人の身近にある「ラック」と、アジアの「漆」を通しての海外の研究者とのネットワークの形成など、個人研究家としての現在までの活動などについてもお話し頂きます。また、専門性の高い分野の研究のキャリア形成についても紹介いただきます。



丹波漆の木(上)
インドのラック農家(下)

申込みは不要です。直接会場までお越しください。

協力：生命環境科学研究科 材料設計学研究室

主催：京都府立大学男女共同参画推進室 (担当：長谷川・鈴木) 共催：環境・情報科学科グリーンセミナー